

月次レポート

第96号
2016年11月15日作成

ユニオンファンド

追加型投信／内外／株式
分配金再投資専用



「ユニオンファンド」の「月次レポート」(2016年11月15日作成)をお届けします。

運用状況のご報告

ユニオンファンド概況



*** 複利年率** +9.29%

*「複利年率」とは設定から現在まで運用を行った結果、複利で換算した場合に何%でまわっていたかを表したものです。過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また個々の受益者ごとの購入時期によって運用結果は異なります。

■ 組入れファンドの内訳 (10/31 現在)

ファンド名	主な投資先地域	組入比率
さわかみF	日本	7.5%
キャピタルF	欧米	13.4%
ハリスF	欧米	19.0%
コムジストF	新興国	38.1%
キャッシュ	—	22.0%

ファンドマネージャー コメント

「株式、投信、投信会社」～ 全部“道具”とってください

「どこのご家庭にも包丁の1本や2本、おありでしょう。包丁がなくても、ニンジンやダイコンならかじりつくこともできますが、カボチャではそうもいきません。包丁は私たちの食生活を豊かにしてくれる貴重な道具です。自動車も、今や生活するうえで欠くことのできない道具です。株式も投資信託(投信)も、これと同じ道具とってください。」

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■道具としての投信

先日、ユニオン投信の主要な出資者である労働組合の会議で、そんなお話をさせていただきました。

包丁も自動車も、便利である代わりに、どちらも使い方を間違えるとケガをします。包丁を使っていれば、うっかり手を切ってしまうことがあります。だからといって包丁を使うことをやめるわけではありません。使い続けているうちに、だんだんと上手になるものです。

自動車は、扱いを間違えると命を危険にさらすことさえある乗り物です。それでも便利さが勝るので、皆さん気をつけながら乗り続けています。

便利で役に立つけれどケガをすることもある、という点では、投資もまったく同じです。株式にしろ、投信にしろ、投資は皆さんの将来の生活をより豊かにしてくれることもあれば、値段が下がって損するなど成果が上がらないこともあります。

ちなみにこの業界では、「リターンとリスク」という言葉がよく使われますが、別に難しい話ではありません。要するに、「便利だけどケガをすることもあるよ」と言っているわけです。

日本の投信は、その「便利さとケガ」のバランスが、どうもこれまであまりよくありませんでした。

ケガ（損）してばかりで一向に成果（リターン）が上がらなかったのです。これでは包丁や自動車のように広く使ってもらえるはずがありません。わざわざ勉強する気にならないのも当然のことです。

しかし、「便利さとケガ」のバランスが悪かったとしても、株式や投信自体が悪い道具だとは言えません。

現に、世界の多くの国で、株式も投信も、個人の財産づくりのために大いに活用されているのです。

これまで日本は、使い方を間違っていたのだと私は思っています。

ならばどうしたらいいのか。

ケガをしないでうまく使いこなすには、やはり最低限の勉強が必要です。自動車に乗る前に教習所に通って免許証をとるのと同じことです。投信の業界に教習所はありませんし、免許証などももちろん発行しませんが、大ケガをする前に安全な使い方をお伝えすることは可能です。そしてそれは、投信の運用成績を高めることと同様に、とても大事なことです。

ユニオン投信は、金融機関を通さず直接皆さんにファンドをお届けする「直販」という態勢をとっています。ユニオンファンドという商品だけでなく、正しい使い方もあわせてお届けしていきたいというのが、一つの理由です。セミナーや勉強会、そしてこの月次レポートなどを通じて、少しでも使い方に慣れていただければ幸いです。

■ユニオン投信という道具

「なぜ労組が投信会社なんか作ったんだ」

そうした声があることはチラチラとお聞きしていました。なるほど、営利企業という面もある株式会社として投信会社を労働組合が作るというのは、聞いたことがありません。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

日本では間違いなくただひとつですし、世界にも他に例を見ません。私自身、最初は大いに驚きました。しかし、いま私はその社員であり、運用という仕事をしています。とても納得できたからです。

「自分たちがほしい投信を自分たちの力で自分たちのために作ろう」という、投信のいわば原点とも言うべきものが、ユニオン投信設立のエネルギーだったのではないのでしょうか。なんだかリンカーンの有名な言葉みたいですが、外から見ていてそうした印象を強く持ちました。

実は、さきほどの会議に私は『来賓』としてお招きいただいたのですが、お話をお聞きしたときから、おこがましいというか恐縮至極というか、なんとも言えない居心地の悪さを感じていました。

「『来賓』というより、私はここにお集まりの皆さんの『下僕（げぼく）』なのです。」

挨拶の冒頭で、そう申し上げました。

理由は二つあります。

「第一に、ユニオン投信は、ここにお見えの皆さんの給料から徴収された組合費を基に作られた会社です。ですから、皆さんは私の雇い主でなのであり、雇い主の皆さんから見れば、私は使用人、つまり下僕なのです。」

「第二に、ユニオンファンドという商品をお持ちの投資家である皆さんから日々少しずついただいている『信託報酬』が、私の給料の基になっています。つまり皆さんは、私にとって大事な大事なお客さまでもあるわけです。」

私が「来賓」という肩書に居心地の悪さを感じたのは、そういうわけです。下僕とは少々へりくだり過ぎだったかもしれません。しかし、金融機関というだけで身構えてしまう方が多いので、これくらいで丁度いい塩梅だとも思います。

■はたらく仲間と家族のために

ユニオン投信のホームページには、「はたらく仲間と家族のための投資信託」と書かれています。それは嘘ではないし、誇張ですらありません。「投信会社という金融機関とその顧客」、「見ず知らずの者同士がおカネのやり取りを主軸にかわしている損得関係」を超えたものがあると感じます。皆さんと対等で生きいきした関係を作っていけたらとてもうれしいことです。

「来年も『来賓』として招いていただけるくらいの成果を上げられるよう最大限の努力をします」と最後には申し上げたのですが、本音は若干違っていました。来賓でも下僕でも、肩書は何でもいいのです。労働組合の方に限らず、ファンドをご購入いただいた皆さんの「仲間」として認めていただけるようになること。それが私にとっての大きな目標です。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ 運用報告

■ 市場動向

10月の世界の株式市場は、現地通貨ベースで見ますとほぼ横ばいでした。米国の大統領選挙の結果を待つ投資家が多かったことや、米国の利上げ観測が強まったことが背景です。

米国では、大統領選が終盤で混乱し軟調でした。発表された7-9月の企業業績はまずまずでしたが、株価にもともと割高感があったうえに、長期金利が上昇したことが重荷となりました。

欧州は、ドイツをはじめ景気指標が総じて予想よりよかったことから、比較的堅調でした。

新興国は、原油価格の反落や、米国の利上げ接近に伴う資金流出懸念などから、全体的にほぼ横ばいにとどまりました。

為替市場では、米国景気の堅調と利上げ期待を背景に、ドルが円に対してやや大きく上昇しました。一方、ユーロの対ドル相場は、欧州中央銀行が緩和策を続けそうであることに加え、英ポンドが先行きへの警戒感から売られたことなどを背景に下落しました。

■ 基準価額

ユニオンファンドの基準価額は、組入ファンドがいずれも好調だったため値上がりしました。なかでも「ハリスF」は、円建てで見た市場の動きを大きく上回りました。このファンドは景気敏感株を多めに組み入れているため、景気回復期待の広がりが追い風になりました。また、「さわかみF」と「コムジェストF」はほぼ市場並みに上昇しました。「キャピタルF」は、前月が好調だった反動もあり、市場の動きを若干下回りましたが、基準価額は上昇しました。

■ 売買、組入比率

10月も引き続き買い付けを見送りました。米国大統領選による混乱を予想したことと、米国の利上げの影響を見極めたいと考えたためです。月末の組入比率は前月末並みの78.0%としています。

■ 今後の運用方針

● 今後の市況見通し

次期米国大統領は共和党のトランプ氏に決まりました。また、上下両院の議会選挙も共和党が制しました。予想外の結果に株価は世界的に大きく下げ、為替市場ではドルがかなり売られています(日本時間11月9日夕方時点)。不透明要素が一つ増えたことは確かで、市場の混乱が収まるには少し時間がかかるかもしれません。ただ、保護貿易への急傾斜や外交・防衛の孤立など懸念材料はありますが、議会との調整も必要であり、簡単には実行できないだろうと思います。不安心理によって売り叩かれたところはいい投資機会になることが多いですから、スタンスは逆に強気に傾けるつもりです。

● 組入比率

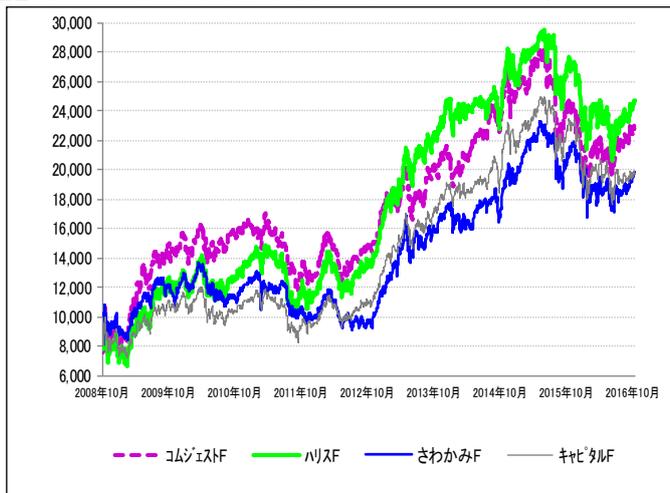
目先は懸念要素が重なりそうだと判断し、8月以降、買い付けを控えてきましたが、市況の悪化を受けて買い増しを始めようと考えています。来年の経済は全体として改善すると予想しておりますので、組入比率を高めていくにはいいタイミングととらえています。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

「ユニオンファンド概況」補足コメント

■ 図1 組入ファンドの基準価額推移(2008.10.20=10,000)

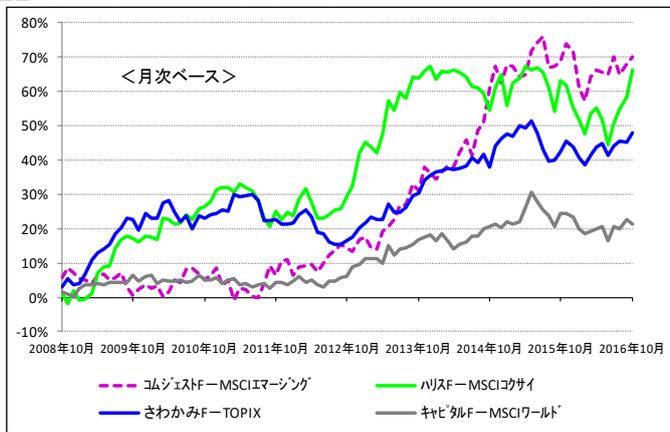


>> 図1 基準価額推移

10月の騰落率は次の通り。

- 「ハリスF」 : +6.0%
- 「さわかみF」 : +4.3%
- 「コムジェストF」 : +3.1%
- 「キャピタルF」 : +0.8%

■ 図2 組入ファンドの相対パフォーマンス(インデックスとの比較)

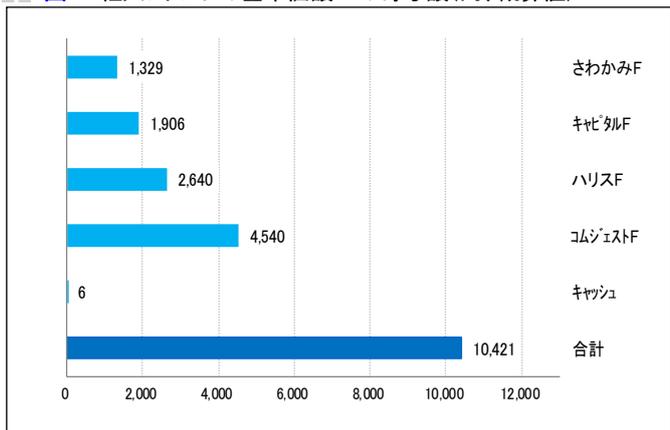


>> 図2 相対パフォーマンス(設定来)

4ファンドともインデックスを上回るパフォーマンス。

- 「コムジェストF」… 約70%凌駕
- 「ハリスF」… 約66%凌駕
- 「さわかみF」… 約48%凌駕
- 「キャピタルF」… 約21%凌駕

■ 図3 組入ファンドの基準価額への寄与額(円、概算値)



>> 図3 寄与額

10月末の基準価額が20,421円で評価益は10,421円。

累積寄与額内訳(10月末まで)は図3の通り。



運用責任者(ファンドマネージャー)
久保田 徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

組入れ4ファンドの状況

■ さわかみF (さわかみファンド)

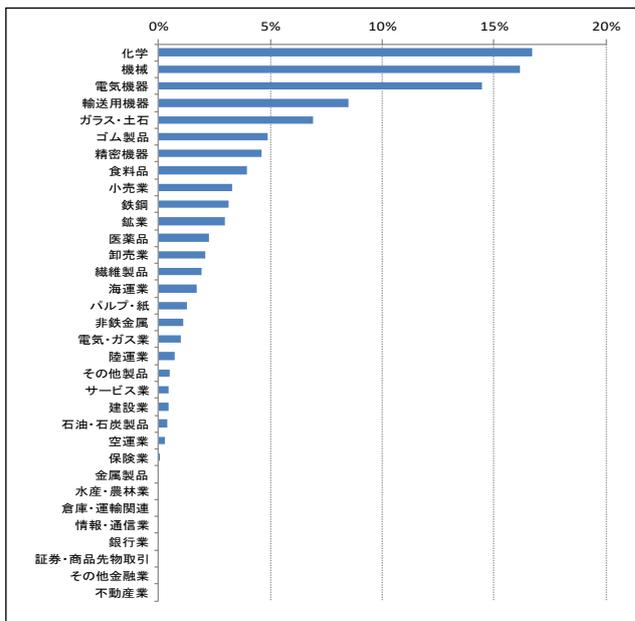
■ 株式組入上位 10 銘柄等

業種: 東証 33 業種

2016 年 10 月末現在

	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	ブリヂストン	4.2%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
2	日本電産	3.8%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
3	トヨタ自動車	3.5%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
4	ダイキン工業	3.3%	日本	機械	エアコン世界首位
5	TOTO	3.0%	日本	ガラス・土石	衛生陶器首位
6	花王	3.0%	日本	化学	トイレット紙首位
7	国際石油開発帝石	2.6%	日本	鉱業	石油メジャー
8	浜松ホトニクス	2.5%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
9	信越化学工業	2.4%	日本	化学	塩ビ・シリコンウエハー世界大手
10	テルモ	2.2%	日本	精密機器	医療機器(カテーテル)
上位 10 銘柄		30.4%			
その他 88 銘柄		55.7%			
キャッシュ		13.8%			

■ 業種別構成比



業種: 東証 33 業種

構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

≫ ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆業種のメリハリを効かせることで個性あるポートフォリオを作り上げている。
- ◆ポートフォリオの特徴
 - (1) 「化学」「機械」「電気機器」「輸送用機器」「ガラス・土石」など“ものづくり”、“輸出型”企業の比率大。
 - (2) “内需型”企業では、「食料品」「小売」「医薬品」といった“生活関連”が中心で、「銀行」「通信」「不動産」「倉庫」などにはほとんど投資していない。
- ◆「化学」「ガラス・土石」「卸売」の一部売却、「精密機器」の買い増しを行ったが、全体としては微調整。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。

◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

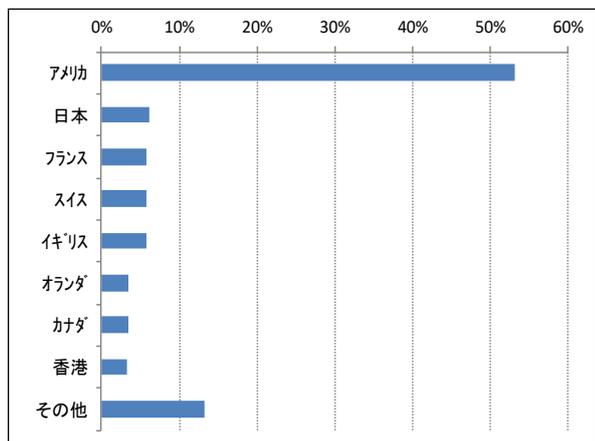
■ 株式組入上位 10 銘柄等

業種: MSCI 世界産業分類基準の 11 セクター

2016 年 9 月末現在

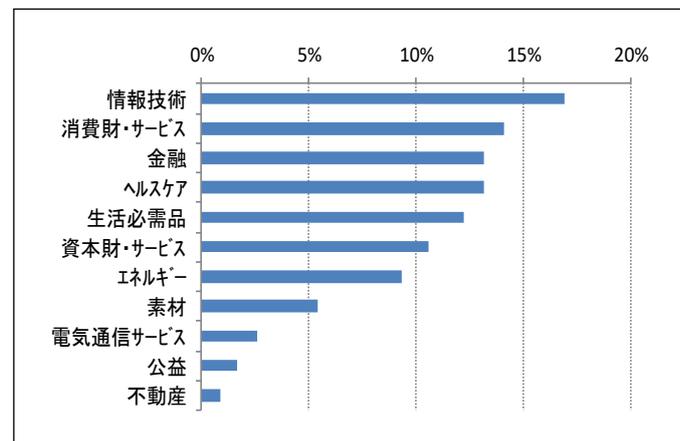
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	Microsoft	2.3%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピューター・ソフト
2	Alphabet	2.2%	アメリカ	情報技術	グーグルの持ち株会社
3	AIA	2.1%	香港	金融	生保・金融サービス
4	TSMC	2.1%	台湾	情報技術	半導体メーカー
5	ASML	2.1%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
6	Visa	2.0%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
7	Novo Nordisk	1.8%	デンマーク	ヘルスケア	医薬品バイオ
8	Incyte	1.8%	アメリカ	ヘルスケア	医薬品バイオ
9	CME	1.7%	アメリカ	金融	先物等の国際的取引所
10	Schlumberger	1.5%	アメリカ	エネルギー	石油掘削大手
上位 10 銘柄		19.7%			
その他 160 銘柄		76.7%			
キャッシュ		3.6%			

■ 国別構成比



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■ 業種別構成比



業種: MSCI 世界産業分類基準の 11 セクター

構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

≫ ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆日本を含む先進国に幅広く投資(170 銘柄程度)。
- ◆平均 30 年の経験を持つ 4 人のファンドマネージャーと 30 人ほどからなる調査チームが、個々の確信に基づいて銘柄を自由かつ柔軟に選択する体制をとる。
この結果、迅速な対応が可能となる一方、ポートフォリオは適度に分散され、過去 30 年では市場を年率で平均 2%程度上回る成績を収めている。
- ◆業種ウェイトは市場平均に近いが、「金融」は恒常的に比率を抑え気味。
- ◆半年前に比べ、「エネルギー」と「ヘルスケア」などが上昇し、「金融」「資本財」「消費財」などが低下。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

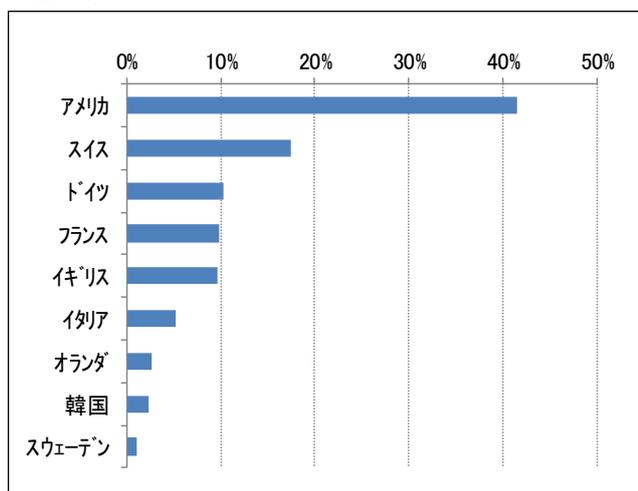
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目録見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ 株式組入上位 10 銘柄等 (マザーファンド)

業種: MSCI 世界産業分類基準の 24 産業グループ 2016 年 9 月末現在

	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	GLENCORE	5.8%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
2	BNP PARIBAS	5.3%	フランス	銀行	フランス大手銀行
3	CNH INDUSTRIAL	5.1%	イタリア	資本財	農機・建機メーカー
4	DAIMLER	5.1%	ドイツ	自動車・自動車部品	世界自動車大手
5	CREDIT SUISSE	5.1%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
6	ALLIANZ	4.9%	ドイツ	保険	総合保険大手
7	AIG	4.2%	アメリカ	保険	総合保険大手
8	GENERAL MOTORS	4.0%	アメリカ	自動車・自動車部品	米ビッグ 3 の一角
9	JULIUS BAER	3.7%	スイス	各種金融	プライベートバンク
10	FINANCIERE RICHEMON	3.7%	スイス	耐久消費財・アパレル	高級ブランド・コングロメイト
上位 10 銘柄		47.0%			
その他 24 銘柄		51.1%			
キャッシュ		1.9%			

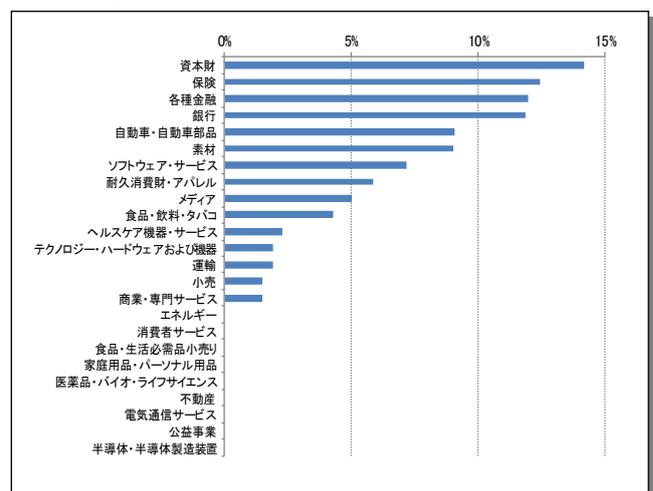
■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

■ 業種別構成比 (マザーファンド)

※2016 年 10 月末現在



業種: MSCI 世界産業分類基準の 24 産業グループ
構成比: 現物ポートフォリオに占める比率 (キャッシュ含まず)

≫ ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆ 割安銘柄に絞り込んで運用するファンド。日本を除く世界各国に投資。
- ◆ 「金融」が最大の投資セクター(組入比率は現在 35%程度)。
- ◆ 「金融」以外では、景気敏感セクターの「資本財」「自動車関連」「素材」などのウェイトが高めとなっている。
- ◆ ここ半年は、「ヘルスケア機器」「各種金融」「メディア」などを引き上げ、「半導体」「素材」「テクノロジー・ハードウェアおよび機器」などを引き下げている。

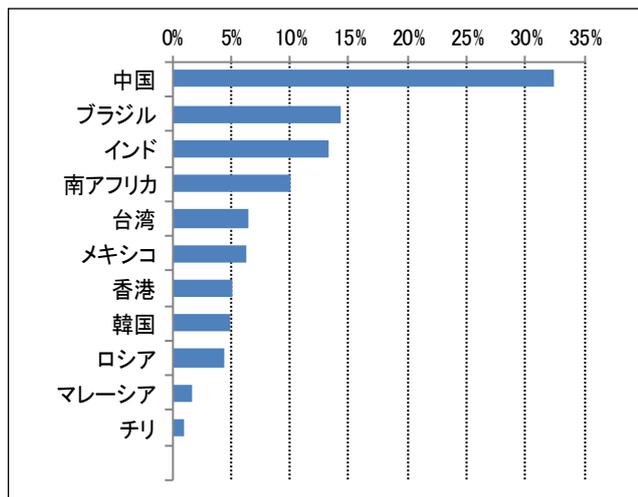
◆ このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆ 当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆ このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

■ 株式組入上位 10 銘柄等 (マザーファンド)

業種:MSCI 世界産業分類基準の 11 セクター 2016 年 10 月末現在

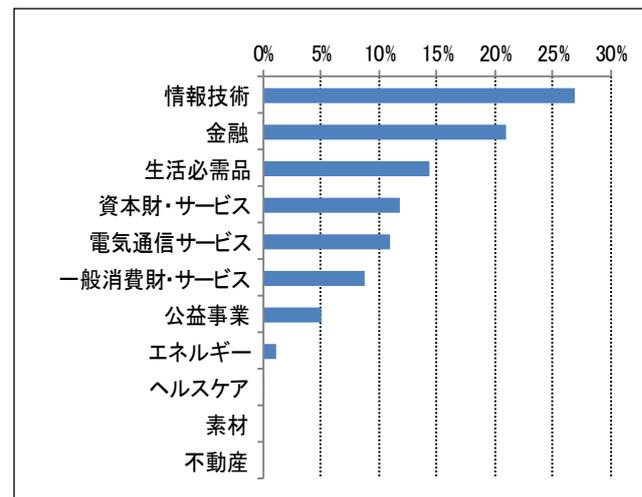
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	6.3%	台湾	情報技術	半導体メーカー
2	NETEASE ADR	5.6%	中国	情報技術	オンラインゲーム
3	CHINA LIFE	4.3%	中国	金融	生保
4	POWER GRID OF INDIA	3.9%	インド	公益事業	電力関連(送電網)
5	INFOSYS ADR	3.7%	インド	情報技術	ITソフト総合サービス
6	CHINA MOBILE	3.4%	中国	電気通信サービス	携帯電話
7	FOMENTO ECONOMICO	3.3%	メキシコ	生活必需品	飲料、コンビニチェーン
8	SAMSUNG LIFE	3.0%	韓国	金融	生保
9	MTN GROUP	2.8%	南アフリカ	電気通信サービス	携帯電話
10	SANLAM LTD	2.8%	南アフリカ	金融	アフリカの保険大手
	上位 10 銘柄	39.1%			
	その他 31 銘柄	58.1%			
	キャッシュ	2.8%			

■ 国別構成比 (マザーファンド)



構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

■ 業種別構成比 (マザーファンド)



業種：MSCI 世界産業分類基準の 11 セクター
構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

≫ ユニオン投信株式会社としてのコメント

- ◆新興国企業(新興国売上比率の高い先進国企業含む)のうち、強固な事業基盤を有し長期的に高成長が期待できる質の高い企業を 40 社程度に絞り込んで運用。
- ◆具体的には、①参入障壁が高く長期的な収益見通しが立て易い企業、②財務が健全で利益率が高い企業、③適正な株価水準にある企業 など。
- ◆新興国の株式市場では、しばしば「資源・エネルギー」や「金融」のウェイトが高いが、当ファンドの場合、「エネルギー」や「素材」の比率は低い。
このため新興国市場が資源・原油価格高で上昇する時には追従できないこともあるが、長期的な相対パフォーマンスは銘柄選択の効果によって極めて良好である。
- ◆割安な成長企業が多いとの判断から、ここ数ヶ月で中国株の比率を 20%台から 30%台へと高めている。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

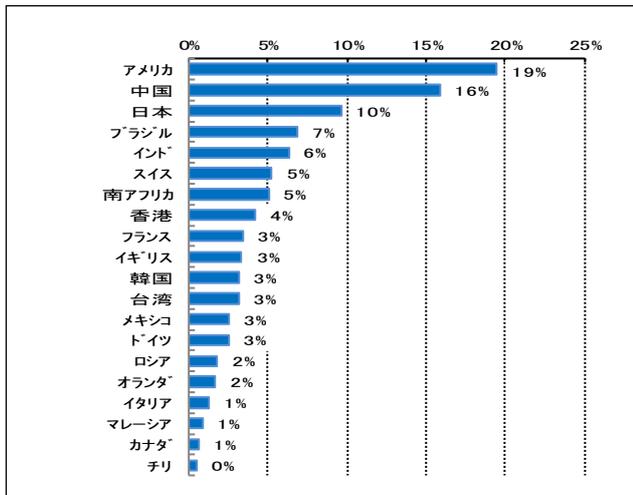
ユニオンファンド(組入4ファンド トータル)の状況

■株式組入上位30銘柄等

2016年9月末現在

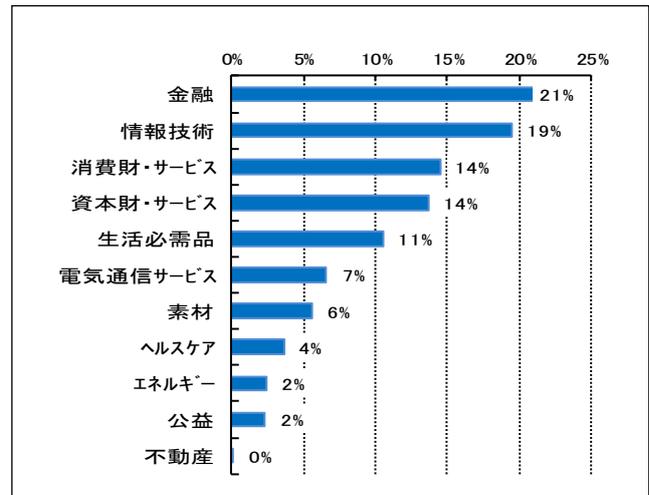
	組入銘柄等	組入比率	国籍	業種	業務内容等	主要組入F
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	2.6%	台湾	情報技術	半導体メーカー	コムジェストF
2	NETEASE ADR	1.9%	中国	情報技術	オンラインゲーム	コムジェストF
3	CHINA LIFE	1.8%	中国	金融	生保	コムジェストF
4	CHINA MOBILE	1.7%	中国	電気通信サービス	携帯電話	コムジェストF
5	POWER GRID OF INDIA	1.5%	インド	公益事業	電力関連(送電網)	コムジェストF
6	FOMENTO ECONOMICO	1.2%	チリ	生活必需品	飲料、コンビニチェーン	コムジェストF
7	INFOSYS ADR	1.2%	インド	情報技術	ITソフト総合サービス	コムジェストF
8	SAMSUNG LIFE	1.2%	韓国	金融	生保	コムジェストF
9	MTN GROUP	1.1%	南アフリカ	電気通信サービス	携帯電話	コムジェストF
10	CKH	1.1%	香港	資本財・サービス	不動産・保険等の複合企業	コムジェストF
11	GLENCORE	1.1%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引	ハリスF
12	BNP PARIBAS	1.0%	フランス	銀行	フランス大手銀行	ハリスF
13	CNH INDUSTRIAL	0.9%	イタリア	資本財	農機・建機メーカー	ハリスF
14	DAIMLER	0.9%	ドイツ	自動車・自動車部品	世界自動車大手	ハリスF
15	CREDIT SUISSE	0.9%	スイス	各種金融	スイス大手銀行	ハリスF
16	ALLIANZ	0.9%	ドイツ	保険	総合保険大手	ハリスF
17	AIG	0.8%	アメリカ	保険	総合保険大手	ハリスF
18	GENERAL MOTORS	0.7%	アメリカ	自動車・自動車部品	米ビッグ3の一角	ハリスF
19	JULIUS BAER	0.7%	スイス	各種金融	プライベートバンク	ハリスF
20	FINANCIERE RICHEMON	0.7%	スイス	耐久消費財・アパレル	高級ブランド・コングロマリット	ハリスF
21	Microsoft	0.3%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピューター・ソフト	キャピタルF
22	プリチストン	0.3%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位	さわかみF
23	Alphabet	0.3%	アメリカ	情報技術	グーグルの持ち株会社	キャピタルF
24	AIA	0.3%	香港	金融	生保・金融サービス	キャピタルF
25	ASML	0.3%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー	キャピタルF
26	Visa	0.3%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード	キャピタルF
27	日本電産	0.3%	日本	電気機器	精密モーター世界首位	さわかみF
28	トヨタ自動車	0.3%	日本	輸送用機器	自動車世界大手	さわかみF
29	花王	0.2%	日本	化学	トイレットペーパー	さわかみF
30	Novo Nordisk	0.2%	デンマーク	ヘルスケア	医薬品バイオ	キャピタルF
上位30銘柄		26.8%	(注)各組入F開示資料に基づくランキング			
その他		47.9%				
キャッシュ		25.3%	(注)各組入Fのキャッシュを含む			

■国別構成比(上位20カ国)



構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

■業種別構成比



業種：MSCI 世界産業分類基準の11セクター
構成比：現物ポートフォリオに占める比率（キャッシュ含まず）

>> コメント

- ☆投資先を絞り込み1銘柄当たりの比率が大きい「コムジェストF」「ハリスF」の銘柄が結果的に上位を占める。
- ☆国別では、米中日の経済大国がトップ3で、新興国がこれに続く。
中国以外の新興国ではブラジル、インド、南アフリカなどの比率が高め。
- ☆最近6ヵ月では、「消費財」「生活必需品」が上昇し、「資本財」「情報技術」「素材」が低下。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。 －

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「価格変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」などがあります。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。 －

【申込手数料】 … お申込みにあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。

※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

【換金手数料】 … ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いいただく手数料はありません。

【信託報酬】 … 純資産総額に年0.864%（税抜き 年0.8%）の率を乗じて得た額です。
毎日、当ファンドの投資信託財産より控除されます。

[*実質的な信託報酬 信託財産の純資産総額に対して年1.8%±0.3%（概算）]

※『ユニオンファンド』は他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。

【信託財産留保金】 … 信託財産留保金はありません。

【その他の費用】 … 上記のほか、次の手数料・費用等が投資信託財産より控除されます。

- ① 組入ファンドの売買の際に発生する売買委託手数料（消費税相当額等の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※監査費用は委託会社が一部または全部を負担することがあります。

注）お客様にご負担いただく手数料・費用等の上限額および合計額につきましては、組入ファンドの売買状況や投資信託財産の規模、またお客様の購入金額や保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。
◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

◆ 業務管理部よりお知らせ ◆

○ 個人番号(マイナンバー)のご提供について

先月からお送りさせていただいております「個人番号(マイナンバー)ご提供のお願い」について、早速、数多くの皆さまよりご提供いただき誠にありがとうございます。

ご登録に時間がかかっており誠に恐縮でございますが、ご登録が完了したお客様より順次その旨のご案内をご郵送させていただいております。

また、まだご提供されていないお客様におかれましては、ご提供のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、これからのご提供にあたりまして、以下の点につき、あらためてご案内申し上げます。

「個人番号届出書」を必ずご提出ください。

- ・ 個人番号届出書とは、弊社へのご登録内容(お客様コード・お名前・ご住所等)が印字された書面です。
- ・ 本届出書のご提出により、あらためてご登録内容を確認させていただいております。

「個人番号届出書」に印字されたご住所等の表記 と 「登録事項変更届」のご提出について

- ・ 弊社システムの都合上、お客様のご住所の丁目、番地等の表記を「- (ハイフン)」に置き換えて登録させていただきます。 (例:長野県松本市深志 1 丁目 1 番地 21 → 長野県松本市深志 1-1-21 と表記)
- ・ 通知カードや個人番号カードに記載されているご住所が丁目、番地と表記されておりましたが、個人番号届出書に印字されたご住所と内容に相違がなければ、「登録事項変更届」による変更手続きは必要ございません。
- ・ 「登録事項変更届」はご登録のお名前が変わられた場合、転居等で別の住所に変わられた場合にご提出ください。

※ その他、ご提供にあたりご不明な点等ございましたら、お気軽に弊社業務管理部(TEL:0263-38-0725)までお問合せください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。

◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。
◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。